

9月は認知症月間です

～認知症についての関心と理解を深めましょう～

問合せ 高齢介護課地域包括ケアG ☎ 55-9471

認知症の人を含めた国民1人ひとりが、その個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会の実現を推進するため、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。市でも認知症や介護予防に関する様々な取り組みを行っており、その一部を紹介します。

認知症介護家族交流会

介護者同士で思いや悩みを明るく話し合い、気持ちをリフレッシュします。9月は、「ケアマネとの上手な付き合い方」をテーマに勉強会を開催します。

日時 9月17日(火) 午後1時30分～3時30分

場所 市役所4階大会議室

参加費 100円(お茶、お菓子代)

認知症介護家族支援プログラム

介護の知識やコツの習得、仲間づくりなどご家族のためのサポートで、10月から開催予定です。詳細は、市政のひろば8月号をご確認ください。ご希望の方は9月20日(金)までに問い合わせ先へ。

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、特別なことをするのではなく、認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る応援者のことです。

日時 10月3日(木) 午前10時～正午

場所 生涯学習センター

定員 15人(先着)

申込 9月19日(木)までに問い合わせ先へ。

※高齢者ふれあいサロンボランティア養成講座と同時開催です。

※市内で活動している団体や企業に出向いて実施もできます。希望の場合は、問い合わせ先へ。

高齢者ふれあいサロンボランティア養成講座

認知症や介護予防について知識を深め、高齢者ふれあいサロンの運営ボランティアとして活動していただく方を養成します。

日時 10月3日(木)・4日(金)

午前10時～午後3時

場所 生涯学習センター

定員 30人(抽選)

内容 認知症や介護予防についての講話、簡単な体操やゲーム等

その他 2日間ともにお昼休憩を挟んだの実施です。昼食はご自身でご用意をお願いします。

申込 9月19日(木)までに問い合わせ先へ。

つしまオレンジサポーターの会

認知症の人や家族が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう認知症サポーターとして活動し、市民が支え合う地域づくりの実現に貢献することを目的に活動しています。

最近の活動

オレンジカフェ「てのひら」を新たにオープンしました。温かな空間で一息つき、認知症について情報交換をしています。

日時 毎月第3木曜日

午後2時30分～

4時ごろ

場所 喫茶 てのひら

(愛宕町4-113)

参加費 200円(飲み物代)



▲つしまオレンジサポーターの会の皆さん

明るく楽しい雰囲気
皆さんをお待ちしています



つしまオレンジサポーターの会
代表 かわい きよし 河合 清 さん

＼気づいてほしい 知ってほしい！ 市民病院ライトアップ中

問合せ 市民病院管理課管理G ☎28-5151 内線2203



毎年9月、10月、11月は市民病院の看板が3色にライトアップされているのをご存じですか？
それぞれの色にどんな意味や願いが込められているかお伝えします。



アルツハイマー月間 9月 オレンジライトアップ

毎年9月21日は世界アルツハイマーデーです。それにあわせて9月はアルツハイマー月間と定められています。

認知症という病気について知ってほしい、認知症の方もその家族も誰もが安心して暮らせる社会を作りたいという願いが込められています。

シンボルカラーは**オレンジ色**

ライトアップ実施期間 9月1日～30日(日没～午前0時まで)

ピンクリボン月間

10月 ピンクライトアップ

10月はピンクリボン月間です。

乳がんは早期発見できれば、治療の選択肢も増え、他のがんに比べて治る確率が非常に高い病気です。

乳がんで命を失う人、大切な人を亡くし悲しい思いをする人が1人でも減るように、定期的なセルフチェックと検診受診の重要性を伝えています。

シンボルカラーは**ピンク色**

ライトアップ実施期間 10月1日～31日(日没～午前0時まで)



世界糖尿病デー

11月 ブルーライトアップ

毎年11月14日は世界糖尿病デーです。シンボルマークはブルーサークル。

糖尿病は初期には自覚症状が少ない病気ですが、診断や治療の遅れ等により重症化すると合併症発症リスクが上がります。

糖尿病の予防や治療継続の重要性を広く知らせることを目的としています。

シンボルカラーは**青色**

ライトアップ実施期間 11月1日～30日(日没～午前0時まで)

どの病気も私たちにとても身近な病気です。それぞれの病気について知ること、理解すること、寄り添うことで、誰もが暮らしやすい社会になることを願っています。病気でつらい思いをする人が少しでも減るよう、早期発見、早期治療、治療の継続が大切です。